

令和5(2023)年度栃木県イノシシ管理計画モニタリング結果報告書(概要版)

1 総合評価

捕獲数は6,330頭であり、管理計画に掲げた年間の捕獲目標13,000頭を達成しなかったものの、令和4年度末時点の推定生息数は9,328頭であり、半減目標(11,700頭)は達成した。

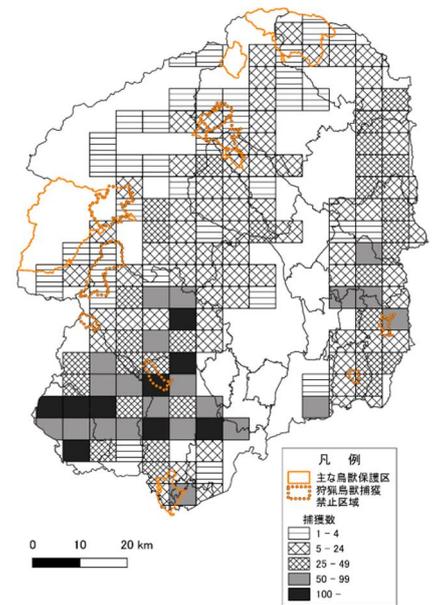
一方で、分布・被害地域は拡大傾向にあり、農作物の被害金額も低い水準を維持しているものの、県南西地域では増加していることから、地域ぐるみの総合的な被害対策をより一層促進していく必要がある。

2 調査の結果

(1) 捕獲数と捕獲の分布

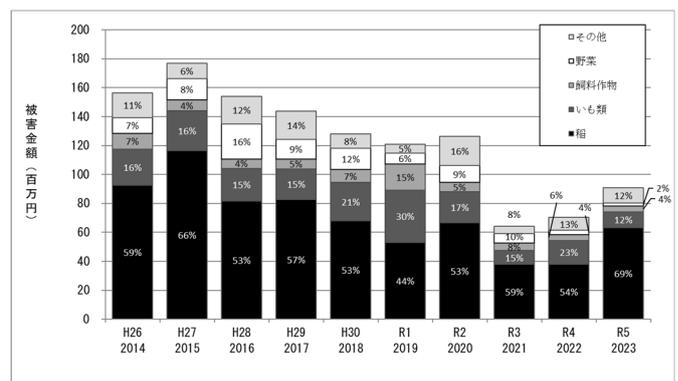
- ・捕獲数は、栃木県イノシシ管理計画(四期計画(H30～R5))に掲げた令和5年度の捕獲目標13,000頭に対して、6,330頭であり、前年度に比べ増加したものの、令和2年度以前と比較すると依然として少ない状況であった。また、捕獲効率も令和3年度以降低い状況が続いており、これまでの捕獲への取組の効果及び豚熱の影響により、令和2年度以前と比較し生息数が大きく減少した状況が続いているものと考えられた。
- ・捕獲数50頭以上の区画は、県南西地域の南部に多く分布しており、また、県東地域においては、南部の方が比較的捕獲が多い傾向であった。
- ・5年ごとの捕獲分布を比較すると、県南西地域の南部や県東地域の南部で捕獲の多い区域が出現するとともに、県中央部の平野部を除き捕獲されるようになっており、分布域が拡大していた。

イノシシ捕獲分布(有害捕獲等)
令和5年度捕獲数: 5,533頭



(2) 被害の発生状況とその対策

- ・農作物の被害金額は、令和3年度に大きく減少したが、令和5年度は91百万円と、ピーク時(平成27年度)からは低い水準を維持しているものの、令和3年度以降、再び増加傾向であった。
- ・地域別に見ると県東地域では横ばい、県北地域では減少している一方、県南西地域(特に南部)では増加していた。
- ・被害対策としては、各市町における侵入防止柵の設置や里山林整備、専門家である鳥獣管理士派遣による集落単位での被害対策への支援等を行っており、被害が減少した地域はこれらの対策が功を奏したものと考えられる。
- ・被害が増加している地域もあることから、鳥獣被害対策実施隊設置の働きかけや、捕獲だけではない各種事業を活用した地域ぐるみの総合的な被害対策をより一層、普及・促進していく必要がある。



イノシシによる被害金額の推移(作物別)